

【大会日程、進行、注意事項】

9 時 『開場』 選手受付はありませんが、全選手、規定の防具類の不使用、申込み時記載の身長、体重などに大きな相違がある場合、試合場の選手呼び出しコール時に試合場にいない場合などは失格になる場合があるのでご注意ください。会場下駄箱数が観客数はありませんので、レジ袋等を持参し、靴をお持ち下さい。また、観客数に対応できる客席も不足しますので手荷物等での席取りを禁止します。席移動の際、その都度席を空けて下さい。1 階柔道場組手試合会場、2 階剣道場型試合会場、に応援スペース、小会場にはアップ場と待機スペースを用意しますので譲り合ってご利用下さい。飲食は柔道場、剣道場観客席、小会場観客待機場のみとし、試合場内での飲食は禁止です。特に武道館入り口玄関、通路、階段を居場所にしたり、飲食は厳禁となりますのでご協力をお願い致します。他団体のご利用もありますので、騒いだり、お子様が走り回ったり遊んだりしない様にご注意をお願いします。

9 時 30 分 『開会式』 組手試合幼年～小学 6 年生までで、型試合出場小学 5、6 年以外の選手は 1 階柔道場組手試合場の開会式に参加して下さい（9 時 20 分集合）上記以外の選手は開会式には任意参加としますが、各自初戦試合時間に間に合う様に来場、準備して下さい。

型試 K1～K9 までの選手で午前中に組手が無いと思われる選手は 2 階剣道場の型試合場で開会式を行いますので剣道場に集合して下さい。（9 時 30 分集合）組手試合開会式終了次第、型試合開会式を行います。K10～K18 の型のみのお出場選手は開会式には任意参加としますが、各自試合時間に間に合う様に来場、準備して下さい。（型試合は K1～順に試合を行います）

9 時 45 分 『試合開始』 各コート準備ができ次第試合を開始します。

『試合応援、セコンド』 選手セコンド人数、応援の人数制限はありませんが、応援する選手の試合終了次第試合場サイドスペースは空けて下さい。

『新ルール採用』 試合は全て「I. K. Oルール」に則り行われますが、安全確保の為に中学生以下には下記の附則ルールが定められています。

☆全ての押しを反則とする。

☆単独で足掛け・足払いは有効とし、相手を瞬時に転倒させ、即座に突きをして気合いが伴う明確な残心を示した場合は技有りとする。但し、押し・捌きとの複合技の足掛け・足払いは反則とする。

☆ライトコンタクトの決めに禁止とする。よって、転倒させての 1 本（背中が着いた状態での決め）、相手の捨て身技への「決め」での技有りは認めない。

☆腕への捌きは肘から下のみが認められる。 ☆肘打ちを禁止とする。

『表彰式』 表彰式は 1 階柔道場特設表彰スペースで行います。各カテゴリー終了後 30 分には入賞者は特設表彰スペース前に集合して下さい。表彰台に挙がったの写真、ビデオはご自由に撮影して下さい。

表彰は組手、型、共に、ワンマッチは優勝のみ、3 人総当たり戦と 7 人までのカテゴリーは準優勝まで 8 人以上は 3 位（組手は 2 人、型 1 人）となります。※型の 20 人以上参加のカテゴリーは 4 位～6 位まで表彰状がありますので特設表彰スペースに集合して下さい。

『武魂杯 M・V・P』 魂こがして！観ている人が感動する！熱い試合！をした選手に贈る武魂杯 MVP は閉会式がないので、最終表彰終了次第発表、表彰します。受賞者は来年の武魂杯まで、特大カップ保有。

『チャリティー募金』 東日本大震災・平成 28 年熊本大震災義援金チャリティーの募金は柔道場物販コーナーにて募金を実施致しますので、皆様ご協力をお願い申し上げます。

『18 時 30 分大会終了予定』 進行状況により変更の場合はご容赦ください。

【型試合について】

★型トーナメント戦は、2階剣道場のDコートで試合を行います。学校の体育館の様な板敷の床になります。

《☆型試合順番》

☆K1～K3 予選、決勝 K4～K6 予選、決勝 K7～K9 予選、決勝 K10～K11 予選、決勝
K12～13 予選、決勝 K14～K15 予選、決勝 K16～K17 予選、決勝 K18～K20 予選、決勝

★開会式後（9時45分～予定）随時試合を開始します。決勝は予選の得点の低い方から競技を行います。

☆予選型、決勝型共に、混合になったカテゴリーはそれぞれ申込時の指定型となります。

☆改正された型、旧型、どちらの選択も可能です。

★一人ずつ順番に型競技を行い、3人の審判による採点の合計点により順位を決定致します。（同点は最高点、最低点の順で優位決定）

☆採点は5.5 6.0 6.5 ではなく、6.0 6.1 6.2 6.3～6.9 と少数点が0～9まで有ります。

★参加人数により、決勝進出人数は異なりますので、パンフレット型試合出場者リスト表で確認して下さい。

☆組手試合が遅れ型試合進行 がストップする可能性があり、その際は組手試合を優先応援ので、試合順が前後入れ替わる場合もあります。

☆全体の試合進行状況によっては、2階剣道場にてEコートを増設して型試合を行う場合があるのでご注意下さい。（1階柔道場の組手コートが早く終了し、型試合進行が遅れている場合）

【試合方式は下記の通りとなります】

例1、黙想から始まらない型 例えば「太極その1」

《アナウンス》「ゼッケン350番横浜太郎！」選手入場。《主審》「正面に礼！」 右手を上げたのを合図とし。

《選手》型の名を言う「太極その1」 型を開始～なおれ、まで行い、型終了 《主審》判定取ります！判定！

《アナウンス》「6.3, 7.2 6.8」 「ただ今の得点は 20.3 です」《主審》 「正面に礼！」 選手退場。

例2、黙想から始まる型 例えば「突きの型」

《アナウンス》「ゼッケン355番東京太郎！」選手入場。《主審》「正面に礼！」 右手を上げたのを合図とし

《選手》黙想！ 型の名を言う「突きの型」 型を開始～なおれ、まで行い、型終了 以下、上記と同様です。

型試合の表彰も1階柔道場です。（20人以上参加カテゴリーは4～6位表彰状授与があるので、1階柔道場特設表彰ステージに集合）

【大会会場案内図】

《注意事項》観客席、試合場サイドスペースで、手荷物を置いたり、席取りは一切禁止です。応援する選手が出場の時間以外は、小道具場、2階剣道場の観客待機場をご利用下さい。特に通路、階段でシートを敷いたり、座ったりは一切禁止です。武道館内の弓道場、射場は立ち入り禁止です。当日は他団体の利用もあるのでご配慮下さい。



組手審判 3 人制で行います！

参加者多数を想定し、試合以外の時間短縮を考慮し、下記の進行にご協力下さい。

審判の儀礼挨拶なし、審判の旗コールは注意、減点の本数コールを省きます。

2 人の副審、主審 1 人のため、有効決定旗数は 2 本以上となります。

【組手試合時間】

男女 幼年チャレンジマッチ	本戦 1 分で決着
男女 幼年以外のすべてのチャレンジマッチ	本戦 1 分 3 0 秒で決着（延長戦無し）
男女 幼年～高校生、壮年のビギナーズ A、A A、S、S S	本戦 1 分 30 秒、延長 1 分 30 秒で決着
男女 一般ビギナーズ A、A A、S、S S	本戦 2 分、延長 2 分で決着

【組手試合防具規定】

カテゴリー	防具着用規定（選手持参）
幼年、小学生、中学生の全てのカテゴリー	拳サポーター、脛サポーター、膝サポーター ヘッドガード（イサミ CKW-10、TT-25） 上記全て公認品、帯留め任意（公認品） 中学生はフェイス金網のない公認ヘッドガード、 歯科医作成のマウスガード着用
高校生、一般、壮年の全てのカテゴリー	一撃オープンフィンガー、脛サポーター、膝サポーター、 ヘッドガード、マウスガード（公認品） 上記全て公認品、帯留め任意（公認品） 高校生のマウスガードは歯科医作成品可、一般、 壮年は公認品着用
※全ての男子	既製品のファールカップを空手着の中に着用
※小学 4 年生以下の女子	公認品の胸パット、下腹部ガードを任意で着用可
※小学 5 年生以上の女子	公認品の胸パット、下腹部ガードを着用
※全ての女子	T シャツは白の無地を着用

☆上記、規定の防具が着用されない場合は失格となります。

☆空手着には氏名を明記。ワッペン、氏名（一撃）以外の刺繍禁止。腕まくり禁止。

☆選手呼び出し係はいませんので、各選手は自分の試合の 5 試合前には出場コート出場コーナー（ゼッケン番号の少ない方が白コーナー、多い方が赤コーナー）にて待機して下さい。（型、組手両方出場の選手のゼッケン番号は共通ゼッケン番号のため、上記の限りではありません）

選手呼び出しアナウンスコールがあっても不在の場合は失格となる事があります。

☆単なる予防のためのテーピングは禁止です。必要な選手は診断書、大会医事委員の承諾必要。

【表彰】 組手、型共に、ワンマッチは優勝のみ、3 人～7 人は準優勝まで、8 人以上は 3 位まで（組手 2 人、型 1 人）、20 人以上参加の型は 4 位～6 位表彰状有り

入賞者は組手試合会場（柔道場）特設表彰スペースに試合終了後 20 分位に集合して下さい。